

StarBEDロゴ 表現マニュアル

Re_1.1/201310.29

目次

• StarBEDロゴの種類.....	3P
• StarBEDロゴ（基本&横パターン）のレイアウト規則.....	4P
• StarBEDロゴのデータ形式と制作物.....	5P
• StarBEDロゴの使用上の注意.....	6P
• StarBEDロゴの使用禁止例	
(1) 形の誤用例／色のご使用例.....	7P
(2) 背景のコントロールの許容と誤用例	
／他の商標との合成／他マークとの近すぎる配置.....	8P
• StarBEDロゴのデザイン要素	
<カラー版>	9P
<モノクロ版>	10P
• StarBEDロゴの使用例	
<ステーションナリ／名刺>	11P
<ステーションナリ／レターヘッド>	12P
<ステーションナリ／プレゼン資料>	13P
<ホームページ>	14P
<リーフレット>	15P

StarBEDロゴの種類

本ロゴは、StarBED施設にある1100台超のPCサーバを収納するラックをイメージしてデザインしたシンボル（ロゴマーク）に、StarBEDのロゴタイプを組み合わせました。
StarBEDロゴの利用シーンを想定し、以下の6種類を用意しました。

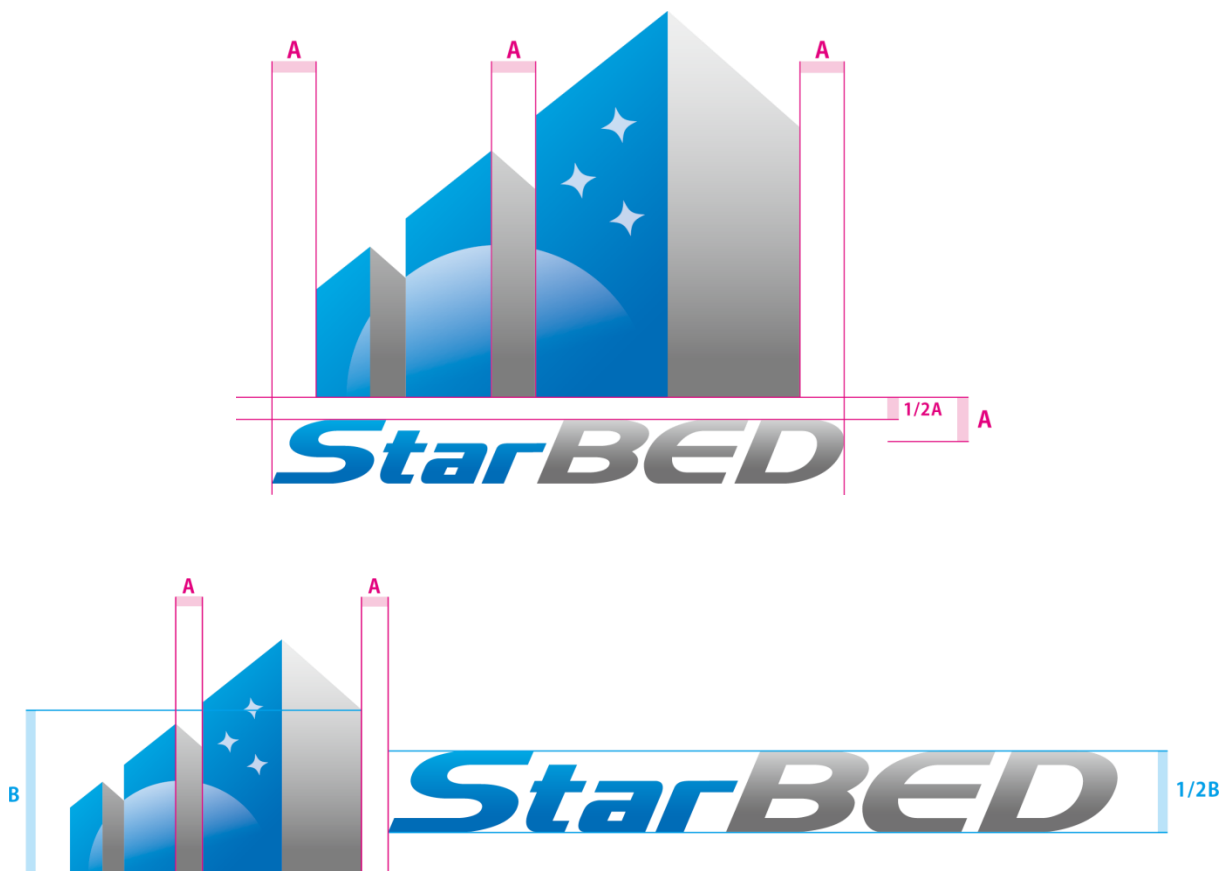
※通常は、カラー版のいずれかを使用します。なお、シンボル（ロゴマーク） だけでの使用はできませんので、ご注意ください。

※モノクロ版は、封筒やFAXシートなど印刷色に制限がある場合を想定して用意しております。

	ロゴ／基本パターン	ロゴ／横パターン	ロゴタイプ
カ ラ ー 版			
モ ノ ク ロ 版			

StarBEDロゴ（基本&横パターン）のレイアウト規則

StarBEDロゴの基本パターンと横パターンは、シンボル（ロゴマーク）とロゴタイプを組み合わせたものです。視認性とバランスを考慮し、中央と右側のラック間の距離「A」と右側ラックの右端グレー部分の長さ「B」を基準に、以下のようなレイアウト規則に則り、配置されています。



StarBEDロゴのデータ形式と制作物

1. ロゴデータの形式

以下の5種類の形式のデータを準備しています。

- illustrator_CS <EPSデータ>
- illustrator_CS4 <aiデータ>
- gif
- jpg
- png

2. 印刷用制作物の場合

ステーションナリやパンフレット等の印刷物を制作する場合は、本マニュアルとともに、EPSデータまたはaiデータを制作会社にお渡しください。

3. WEB等の制作物の場合

WEB等のデジタル関連の制作物の場合も、本マニュアルとともに、EPSデータまたはaiデータを制作会社にお渡しください。

4. プレゼンテーションや報告書での使用

WordやPPT等の資料にロゴを使用する場合は、gif/jpg/pngのいずれかのデータをご利用ください。

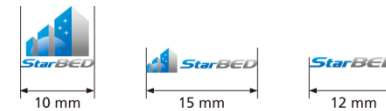
- ロゴの変形をしないため、[図の挿入]を利用します。
- サイズを変更する場合は、縦横比を固定して行ってください。
- サイズを拡大をすると画像が粗くなる場合がありますので、SMLの3サイズより選んで、利用してください。

StarBEDロゴの使用上の注意

1. 最小使用サイズ

右に示す各パターンの最少使用サイズは、印刷物等、具体的なアイテムに小さなサイズで使用する場合に造形の精度を保証できる限界です。これ以下のサイズで使用しないでください。

●各パターンの最小使用サイズ



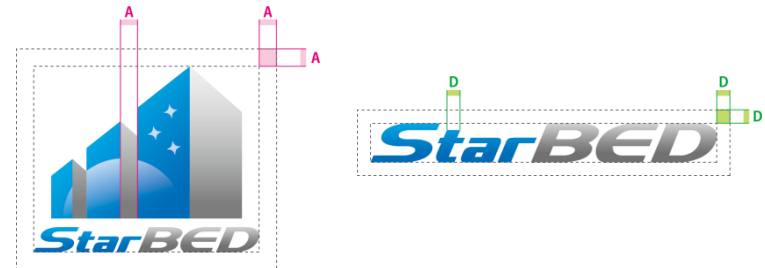
2. アイソレーション規定（分離スペース基準）

ロゴの識別性を高めるため、テキストや模様など周囲に表示される要素との間に十分なスペースが必要です。これらを近くに配置する場合は、右に示すように以下の長さを基準に、

- ・基本パターンはA（中央と右側のラック間の距離）
- ・横パターンはC（左側のラックの幅）
- ・ロゴタイプはD（「t」の上部の幅）

ロゴの周囲に、少なくともこれ以上の長さの無地部分を確保して使用してください。

●各パターンのアイソレーション規定



●テキスト配置例

ロゴの識別性を高めるため、テキストや模様など周囲に表示される要素との間に十分なスペースが必要です。テキストなどを近くに配置する場合は、使用するロゴの種類に合わせ、少なくとも上記に示す長さに相当する以上の無地部分を確保して使用してください。



●背景の誤用例①



背景の写真とロゴが溶け込んでしまい、見づらい場合

●背景の誤用例②



アイソレーション規定に従って、ロゴの周囲に無地部分を確保しても、背景のインパクトが強い場合

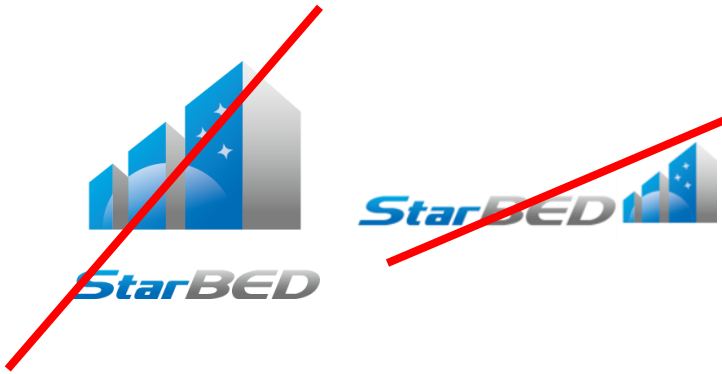
3. 背景

写真やCG等の図形を背景とする場合については、アイソレーション規定に従うだけでなく、空などのようにできるだけ変化の少ない場所を選んでロゴを配置してください。

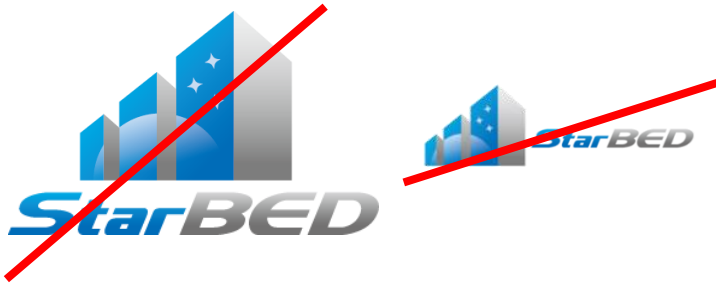
右のような場合は見づらく、視認性・識別性とも低いので、使用しないでください。

StarBEDロゴの使用禁止例 (1)

■ 形の誤用例



StarBEDロゴタイプの位置を変更してはならない



StarBEDロゴタイプとシンボルの大きさのバランスを変更してはならない



縦横比を変更してはならない

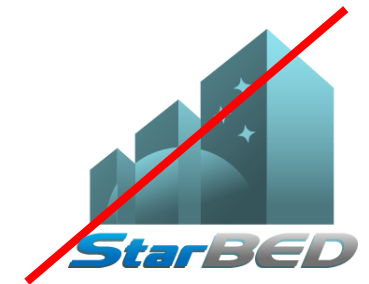


シンボルマークだけで使用してはならない

■ 色の誤用例



StarBEDロゴタイプの色を変更してはならない



シンボルの色を変更してはならない

StarBEDロゴの使用禁止例（2）

■背景のコントロールの許容と誤用例



背景色がロゴカラーの場合で、シンボルもしくはStarBEDが見つからないためNG

背景色が濃くシンボルははっきりしているが、StarBEDが見つからないためNG



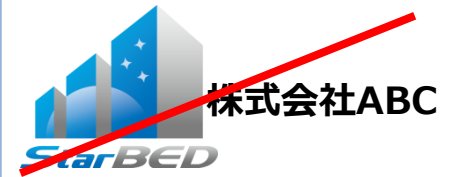
背景色が薄い場合や濃い場合でも、シンボル及びStarBEDがしっかり見えるものはOK



背景の模様や写真のイメージが強く、シンボルもしくはStarBEDが埋没して見つからないためNG

空などの変化が少ない場所で、シンボル及びStarBEDが埋没しないところへの配置はOK

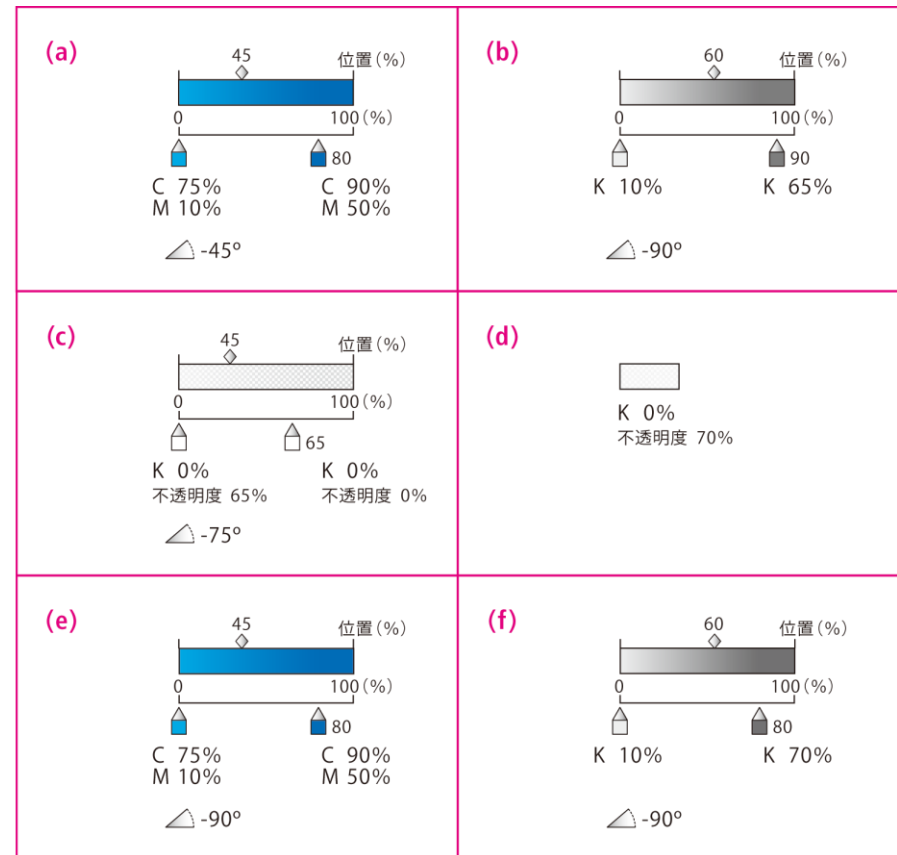
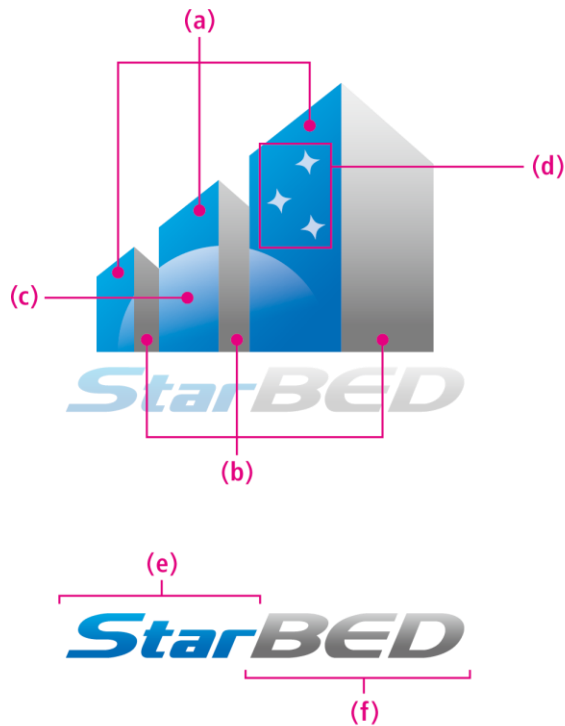
■他の商標等との合成



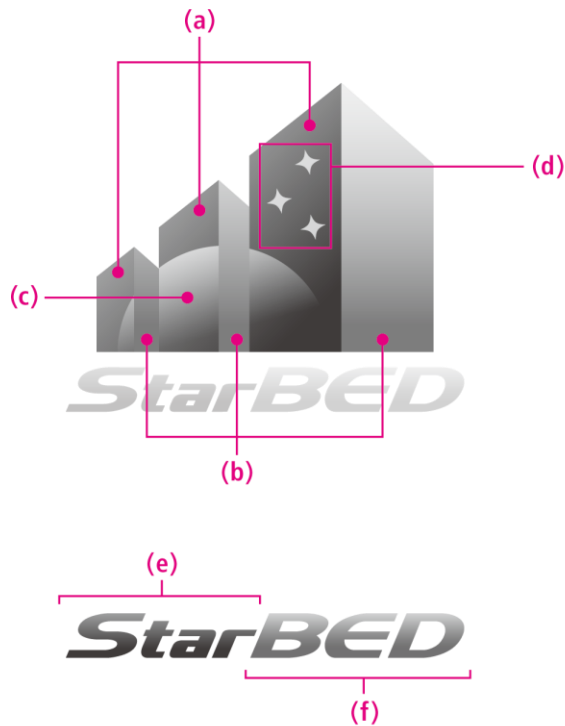
■他マークと近すぎる配置



StarBEDロゴのデザイン要素<カラー版>



StarBEDロゴのデザイン要素 <モノクロ版>



<p>(a)</p> <p>位置 (%)</p> <p>0 100 (%)</p> <p>K 50% K 90%</p> <p>$\triangle -45^\circ$</p>	<p>(b)</p> <p>位置 (%)</p> <p>0 100 (%)</p> <p>K 10% K 90%</p> <p>$\triangle -90^\circ$</p>
<p>(c)</p> <p>位置 (%)</p> <p>0 100 (%)</p> <p>K 0% K 0%</p> <p>不透明度 65% 不透明度 0%</p> <p>$\triangle -75^\circ$</p>	<p>(d)</p> <p>K 0%</p> <p>不透明度 70%</p>
<p>(e)</p> <p>位置 (%)</p> <p>0 100 (%)</p> <p>K 50% K 90%</p> <p>$\triangle -90^\circ$</p>	<p>(f)</p> <p>位置 (%)</p> <p>0 100 (%)</p> <p>K 10% K 70%</p> <p>$\triangle -90^\circ$</p>

StarBEDロゴの使用例 <ステーションリ/名刺>

<現在の名刺レイアウト/表面>




博士(情報科学) **三輪 信介**

テストベッド研究開発室 副室長
北陸 StarBED 技術センター センター長

独立行政法人 情報通信研究機構
テストベッド研究開発推進センター テストベッド研究開発室
北陸 StarBED 技術センター
〒923-1211
石川県能美市旭台2丁目12番地
TEL: 0761-51-8118 FAX: 0761-51-8177
E-mail: danna@nict.go.jp 事務連絡: miwa-sec@ml.nict.go.jp
URL: <http://starbed.nict.go.jp>

<現在の名刺レイアウト/裏面>





Shinsuke MIWA, Ph.D.

Associate Director of Network Testbed R&D Laboratory
Director of Hokuriku StarBED Technology Center

National Institute of Information and Communications Technology
Network Testbed R&D Promotion Center
Network Testbed R&D Laboratory
Hokuriku StarBED Technology Center
2-12 Asahidai, Nomi, Ishikawa, 923-1211 Japan
TEL: +81-761-51-8118 FAX: +81-761-51-8177
E-mail: danna@nict.go.jp/miwa-sec@ml.nict.go.jp <http://www.starbed.org>

<StarBEDロゴ配置後/表面>






博士(情報科学) **三輪 信介**

テストベッド研究開発室 副室長
北陸 StarBED 技術センター センター長

独立行政法人 情報通信研究機構
テストベッド研究開発推進センター テストベッド研究開発室
北陸 StarBED 技術センター
〒923-1211
石川県能美市旭台2丁目12番地
TEL: 0761-51-8118 FAX: 0761-51-8177
E-mail: danna@nict.go.jp 事務連絡: miwa-sec@ml.nict.go.jp
URL: <http://starbed.nict.go.jp>

<StarBEDロゴ配置後/裏面>


Shinsuke MIWA, Ph.D.

Associate Director of Network Testbed R&D Laboratory
Director of Hokuriku StarBED Technology Center

National Institute of Information and Communications Technology
Network Testbed R&D Promotion Center
Network Testbed R&D Laboratory
Hokuriku StarBED Technology Center
2-12 Asahidai, Nomi, Ishikawa, 923-1211 Japan
TEL: +81-761-51-8118 FAX: +81-761-51-8177
E-mail: danna@nict.go.jp/miwa-sec@ml.nict.go.jp <http://www.starbed.org>

StarBEDロゴの使用例 <ステーションナリ/レターヘッド>

<レターヘッド案.doc/書類送付案内>



書類送付案内

平成 25 年 2 月 28 日

_____ 様

拝啓 時下ますます御清栄のこととお慶び申し上げます。
平素は、ご高配を賜り、厚く御礼申し上げます。
さて、下記書類を同封致しますので、御検収下さい。
なお、作業完了後、押印の上、ご返送くださいますよう、お願い致します。
今後ともよろしくお願い申し上げます。

敬具

記


(1) 発注書	1 通
(2) 請求書	1 通
(3)	

以上

※ 日付欄については……。

独立行政法人 情報通信研究機構
北陸 StarBED 技術センター
□ □ □ □

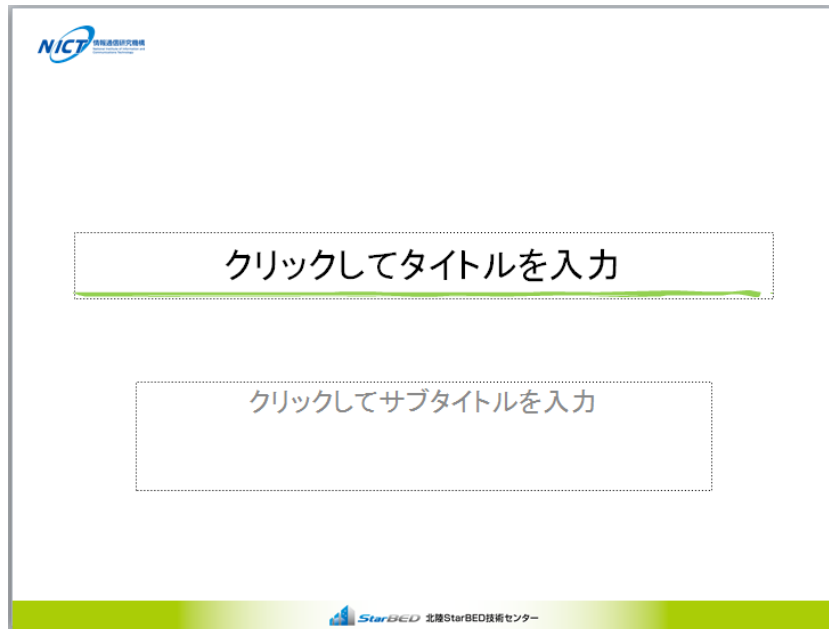
T E L : 0761-51-8118
F A X : 0761-51-8177
E-mail : *****@nict.go.jp



Hokuriku StarBED Technology Center
〒923-1211 石川県輪島市鳩台 2 丁目 12 番地(いしかわサイエンスパーク内)

StarBEDロゴの使用例 <ステーションナリ/プレゼン資料>

<パワーポイント・デザイン案.ppt/表紙>



<パワーポイント・デザイン案.ppt/中ページ>



StarBEDロゴの使用例 <ホームページ>

<StarBED3公式サイト/ヘッダ部分へのロゴ配置/TOP>



StarBED3 公式サイトヘッダ部分のスクリーンショット。ナビゲーションメニューには「TOP」「StarBED3について」「適用分野と利活用事例」「利用申請と利用方法」「当センターの役割と研究」「研究成果」「その他」があります。メインコンテンツには「StarBEDは1000台超の実験専用HaaS環境。100万台レベルまで対応可能な、世界最大規模のエミュレーション基盤です。」と記載されています。下部には「What's New」のニュース一覧と「StarBED Project」の紹介があります。

<StarBED3公式サイト/ヘッダ部分へのロゴ配置/中面>



StarBED3 公式サイト中面部分のスクリーンショット。第3期プロジェクト「StarBED3」に関する詳細情報が掲載されています。

第3期プロジェクト「StarBED3」

- StarBED構築時の基本コンセプト**
独立行政法人情報通信研究機構（NICT）は、通信・放送機構（TAO）時代の2002年に512台のPCサーバを相互接続しスイッチで接続した大規模汎用インターネットシミュレータとして「StarBED」を構築・運用を開始しました。
「StarBED」を構築した基本コンセプトは、必要に応じて各研究機関が個別に構築していたシミュレーション設備を常設し、複雑かつ大規模なシミュレーションを実施できるテストベッドとして、インターネットの研究開発を支援することにあります。このテストベッドの活用により、設備・ツール・知識の共有と再利用が促進され、研究開発の低コスト化やR&Dサイクルの短縮などの利点が実証されました。
- 拡大・進捗するプロジェクトは第3期へ**
— 大規模エミュレーション基盤「StarBED3へ」 —
これを踏まえ、2006年にはミッションスコープをユビキタスネットワークに拡大し、第2期「StarBED2」としてバイナリコードレベルで最終製品に近い形のシステムを検証できる1000台以上のPCサーバからなるテストベッドを構築し、提供してきました。
そして2011年、第3期「StarBED3」がスタート。ミッションスコープを新世代ネットワーク及びそのセキュリティ、サービスに関する技術の研究開発に拡大するとともに、さまざまな有線・無線が混在したネットワークやサイバーフィジカルシステムへと手法の拡大を図り、大規模エミュレーション基盤としてソフトウェア実装レベルでの実験・検証を可能とするテストベッドを提供し、ネットワーク研究開発を支援してまいります。

また、プロジェクトの拡大に伴い、右図のように研究開発目標も継続・拡大を続けており、StarBED3では次の目標を掲げています。

- 大規模・複雑なネットワークシステムの性能・挙動を明らかにする
- ユビキタスシステムのディンダビリティ性質への対応
- 新世代ICTシステムへの対応
- R&Dのライフサイクルサポート

研究開発目標の継続と拡大



StarBED1/StarBED2/StarBED3の進化イメージ



研究開発目標の継続と拡大

StarBEDロゴの使用例 <リーフレット>

<StarBED³リーフレットへのロゴ配置例/表面>

誰もが安心して暮らせる信頼性の高い情報社会
もっと賢くスマートな未来の都市づくりに貢献する

StarBED³

数百~100万台レベルの総合的な実験・検証も自由自在! 世界最大規模のエミュレーション基盤

サイバーフィジカルシステムの検証

サービスプラットフォームの検証

さまざまなネットワーク環境に対応

さまざまなエミュレーション対象に対応

1000台超の実験専用HaaS環境

最大100Gbpsのバックホーンで接続

仮想化と切り出しで実験規模を変更可能

StarBED³ on JGN-X

専用ソフトウェアで構成や実験を自動化

StarBEDを利用して研究開発を行う産・学・官の研究機関のリポート率 **90%以上**

【StarBED³を利用して研究開発の適用分野】

- ネットワーク志向プロダクトの研究・開発・検証のためのプラットフォーム
- 既存システムの特性解析
- 大規模の設備環境でのセキュリティ実験
- 仮想社会実験 etc.

【利用例】

- ホームネットワーク
- ネットワーク障害による消費電力への影響
- スマートホーム/スマートシティ
- 電子レンジや電車の電磁妨害による無線通信への干渉
- スマートグリッド
- 電力制御に関する構成の最適化 etc.

物理環境: 家電機器、電力、物理環境、人間行動

仮想環境: 家電機器、電力、物理環境、人間行動のサイバーフィジカルシステム機能イメージ

StarBED 北陸StarBED技術センター

<StarBED³リーフレットへのロゴ配置例/裏面>

拡大・進化するStarBEDの第3期プロジェクト StarBED³(スターベッド・キュービック)

● StarBEDからStarBED³へ - 規模・対象、そして手法の拡大 -

独立行政法人情報通信研究機構(NICT)は、通信放送機(タオ)時代の2002年に512台のPCサーバを相互接続スイッチで接続した大規模汎用インターネットワークシミュレータとして(StarBED)を構築・運用を開始しました。2006年にはミッションスコープをユビキタスネットワークに拡大し、第2期(StarBED2)としてバリエーションレベルで最終製品に近い形のシステムを構築できる1000台以上のPCサーバからなるテストベッドを構築し、提供してきました。

そして2011年、第3期(StarBED³)がスタート。ミッションスコープを新世代ネットワーク及びそのセキュリティ、サービスに関する技術の研究開発に拡大するとともに、さまざまな有線・無線が混在したネットワークやサイバーフィジカルシステムへと手法の拡大を図り、大規模エミュレーション基盤としてソフトウェア実装レベルでの実験・検証を可能とするテストベッドを提供し、ネットワーク研究開発を支援します。

● StarBED³を利用するには...

StarBED³は、新世代ネットワークの研究開発の目的であれば、産・学・官の研究機関研究者はどなたでもご利用が可能です。利用に先立ち、ほかにいずれかの手続きをお願しいたします。

1. 当センターと協働の研究開発、検証研究、検証結果を構築するJGN-X研究推進センターを提出し、NICTと共同研究契約を締結する。ICT研究開発促進連携推進委員会(HRP)の会員になり、賛意を締結する。

2. 利用との申請

3. 研究開発プロジェクト終了後の報告書提出(検証結果を構築するJGN-X研究推進センターを提出し、NICTと共同研究契約を締結する)

● StarBED³の研究開発環境を提供し、開発支援を行う拠点 **北陸StarBED技術センター**

● 産・学・官の研究者が結集

NICTは、新世代ネットワークのプロトタイプ構築に寄与するため、StarBED³の研究開発拠点(北陸StarBED技術センター)に民間企業・大学・公的研究機関などの研究者を結集し、集中的に研究開発を推進しています。利用者に大規模エミュレーションテストベッドを提供し、ソフトウェア実装レベルでの実験・検証を容易にできるようにすることで、ネットワーク研究の各段階を支援します。その結果、単なるテストベッドからソフトウェア、実験・検証手法やデータセットの蓄積と公開などによる総合的な研究開発支援基盤へと発展させていくという目標を描いています。

● 当センターの研究内容

当センターは、StarBED³に関して5年計画で下記のテーマで研究開発を行い、新世代ネットワーク及びそのセキュリティやその上でのサービスに関する技術など、さまざまな新しいICT技術の研究開発や人材育成などに活用しながら、テストベッドとしての高次元を図ります。

研究テーマ	内容
大規模エミュレーション基盤技術	さまざまな研究開発環境に対応した検証を容易にするため、理論シミュレーションから実際の検証を混在させたエミュレーション環境で実現可能なエミュレーション基盤を研究します。
ネットワーク基盤検証技術	有線と無線が組み合わされるような技術の検証を可能にするため、有線と無線のエミュレーションをネットワーク上で実現する、統合的なネットワーク検証基盤を研究します。
マルチレイヤ統合検証技術	ネットワーク層以下の下位階層からアプリケーションやユーザ、管理階層(クラウド)と上層階層での統合的な検証を可能にするため、複数のエミュレーションシミュレータ等を組み合わせた上で、同一の階層上で実行できるような検証基盤を研究します。

● 大規模エミュレーション基盤「StarBED³」サイト

拠間で1000台を超える大規模なエミュレーション基盤は、国内においてStarBED³以外になく、我が国におけるエミュレーション研究開発の中心の役割を担っています。

詳しくは、下記URLより「StarBED³」サイトをご覧ください。

独立行政法人 情報通信研究機構
テストベッド研究開発推進センター
テストベッド研究開発室
StarBED 北陸StarBED技術センター

〒923-1211
石川県能登町星加2丁目12番地 (いしかわサイエンスパーク内)
Tel: (0761)51-8118 Fax: (0761)51-8177
E-mail: info@starbed.org URL: http://starbed.nict.go.jp/

〒184-8795
東京都小金井市貫井北町4-2-1【本部】
URL: http://www.nict.go.jp/
NICTに関するお問い合わせは広報課まで。
Tel: (042)327-5392 Fax: (042)327-7587
E-mail: publicity@nict.go.jp

NICT

2013.02